

# 未来のエスキースを描く。

TOHTECH2023募金



旧学部学科体制 (2019年度入学まで)

工学部
電気電子工学科
情報通信工学科
建築学科
都市マネジメント学科
環境エネルギー学科

ライフデザイン学部
クリエイティブデザイン学科
安全安心生活デザイン学科
経営コミュニケーション学科

現学部学科体制 (2020年度入学から)

工学部
電気電子工学科
情報通信工学科
都市マネジメント学科
環境応用化学科
建築学部
ライフデザイン学部
産業デザイン学科
生活デザイン学科
経営コミュニケーション学科



## 未来のエスキースを描く。 東北工業大学

### 問い合わせ先

学校法人東北工業大学財務課(募金担当)

Tel. 0982-8577 仙台市太白区八木山香澄町35-1

Tel. 022-305-3505 / Fax. 022-305-3362

Mail zaimu@tohtech.ac.jp

こちらより本学寄付金募集ページにお進みいただけます。

東北工業大学 2023募金

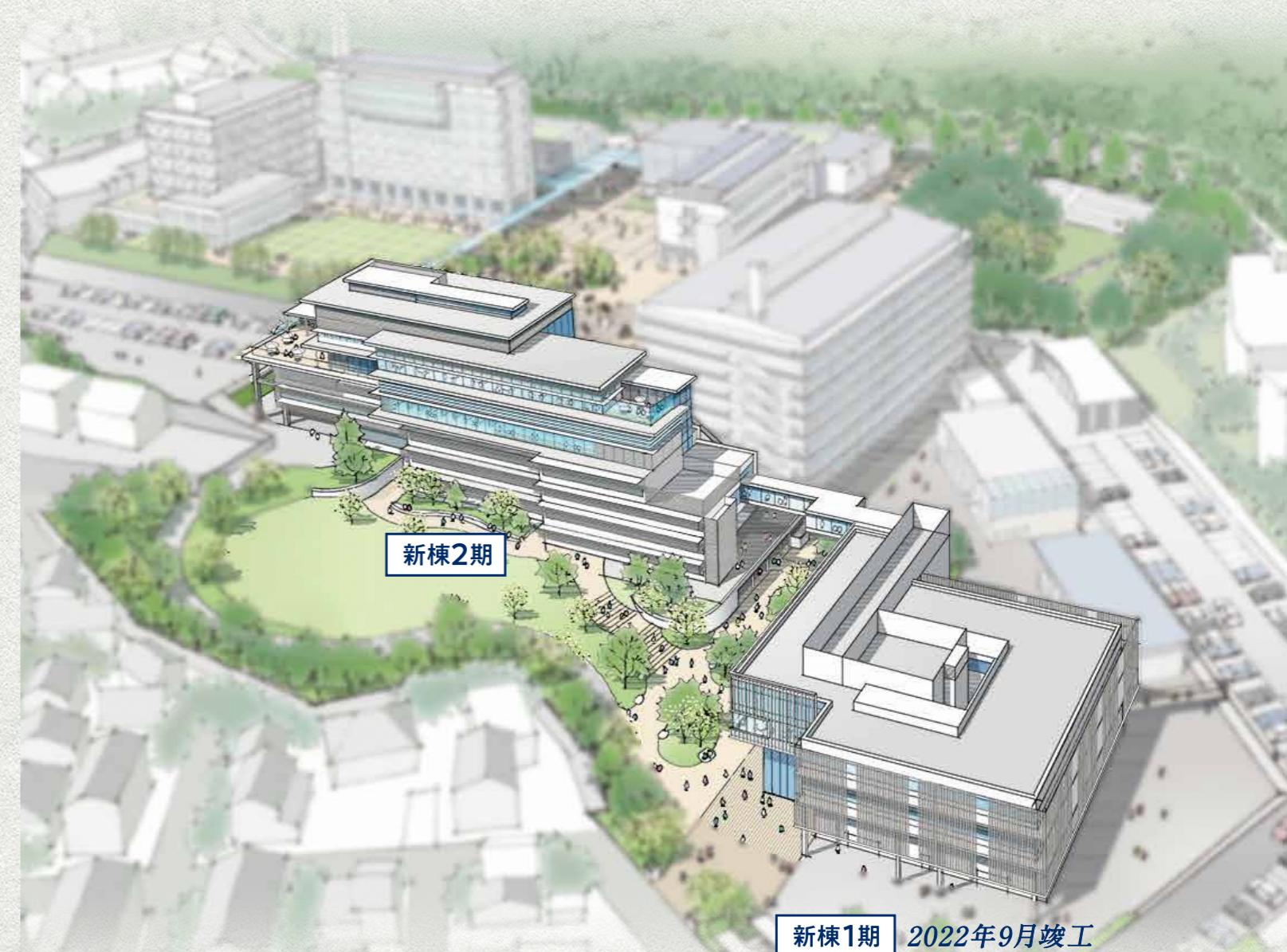


[http://www.tohtech.ac.jp/corporation/reconstruction\\_aid/index.html](http://www.tohtech.ac.jp/corporation/reconstruction_aid/index.html)



## ～協創する知の杜をめざして～

「学部学科改組再編」及び  
「八木山キャンパス整備基本計画」



未来のエスキースを描く。  
東北工業大学

## 沿革

1964年 1月	・東北工業大学設置認可
4月	・東北工業大学開学 工学部電子工学科、通信工学科開設
1966年 4月	・工学部建築学科増設
1967年 4月	・工学部土木工学科、工業意匠学科増設
1990年 4月	・長町キャンパス利用開始
1992年 4月	・大学院工学研究科修士課程 (通信工学専攻、建築学専攻、土木工学専攻)開設
1993年 4月	・大学院工学研究科修士課程(電子工学専攻)増設
1994年 4月	・大学院工学研究科博士課程(通信工学専攻、建築学専攻)開設
1995年 4月	・大学院工学研究科博士課程(電子工学専攻、土木工学専攻)増設
2000年 4月	・大学院工学研究科修士課程(デザイン工学専攻)増設
2001年 4月	・工学部環境情報工学科増設
2002年 4月	・大学院工学研究科博士課程(デザイン工学専攻)増設
2003年 4月	・工学部土木工学科を建設システム工学科に、 工学部工業意匠学科をデザイン工学科に名称変更 ・大学院工学研究科博士課程(環境情報工学専攻)増設
2004年 4月	・工学部通信工学科を情報通信工学科に名称変更
2006年 7月	・八木山キャンパス新1号館完成
2007年 4月	・工学部電子工学科を知能エレクトロニクス学科に名称変更
2008年 4月	・ライフデザイン学部開設 ・クリエイティブデザイン学科、安全安心生活デザイン学科、 経営コミュニケーション学科開設 ・工学部デザイン工学科募集停止
2011年 4月	・工学部建設システム工学科を都市マネジメント学科に名称変更
2012年 4月	・工学部環境エネルギー学科開設、環境情報工学科募集停止 ・大学院ライフデザイン学研究科デザイン工学専攻開設
2013年 1月	・長町キャンパス4号館完成
2017年 4月	・工学部知能エレクトロニクス学科を電気電子工学科に名称変更
2020年 4月	・工学部建築学科を建築学部建築学科に改組 ・工学部環境エネルギー学科を環境応用工学科に改組 ・ライフデザイン学部クリエイティブデザイン学科を産業デザイン学科に、 ライフデザイン学部安全安心生活デザイン学科を生活デザイン学科に名称変更
2021年 4月	・八木山キャンパス整備基本計画「新棟1期」着工
2022年 9月	・八木山キャンパス整備基本計画「新棟1期」完成
[今後の計画]	
2027年	・八木山キャンパス整備基本計画「新棟2期」完成



## 募金のお願い

東北工業大学は、1964(昭和39)年に創立され、「高度の技術者の養成」という建学の精神のもと、35千人を超える有為な人材を社会に送り出し、わが国の産業、経済などの発展に大きく寄与してまいりました。

本学では、2014(平成26)年度からスタートした5カ年計画は終了しましたが、入学定員・収容定員を安定的に確保し、財政の健全化を図ることができました。2019(令和元)年度からは、新たに2023(令和5)年度を目標年次とする中期計画「TOHTECH2023」\*をスタートさせました。本計画では、これからのIoT・AIといった高度情報技術の普及、グローバル化、人生100年時代、人口減少など、社会環境の大きな変化の時代を先導し、魅力的な工科系私立大学へ飛躍することを目指しています。

上記目的を実現するための一環として、2020(令和2)年4月、新学部として「建築学部」、新学科として「工学部環境応用化学科」を設置しました。これにより、従来の2学部8学科体制から3学部8学科体制になるとともに、ライフデザイン学部の「クリエイティブデザイン学科」を「産業デザイン学科」に、「安全安心生活デザイン学科」を「生活デザイン学科」に学科名称を変更いたしました。

この学部学科改組再編をハード・ソフト面で確実・強固にするために、「八木山キャンパス整備基本計画」を策定いたしました。本計画では、「人」「活動」「知」のつながりを重視するコンセプトのもと、学部・学科を超えた機能別の棟構成にするなど、新しい価値を創造する学びの拠点としての役割を果たします。さらに、緑豊かな八木山キャンパスから太平洋を見渡す広大な眺望を活かした食堂、カフェ、図書館など、学生・教職員・同窓生だけでなく、地域との交流スペースとして整備、地域に開かれた大学として「知の杜」の協創がより促進されるものと期待しています。

本学いたしましては、これまで「八木山キャンパス整備基本計画」を実現するため、内部留保の充実など自助努力を徹底し、安定した財務基盤の維持を図りながら計画を進めてまいりました。しかし、一連の事業には多額の資金を要するため、皆様のお力添えは欠かせないものであります。

2019年11月より募集を開始した「TOHTECH2023募金」は、同窓生、ご父母、法人、同窓会・後援会等の団体、教職員等、多くの皆様から多大なご協力を賜り、目標の2億円に対し、2023年7月末日現在で約1億5千万円のご支援をいただいております。東北工業大学を代表して心から御礼申し上げます。

昨今の厳しい社会・経済情勢のもとでのお願いで誠に恐縮ではございますが、本趣旨をご理解の上ご賛同いただき、「TOHTECH2023」を是非とも達成するため、皆様の暖かいご支援・ご協力を賜りたく心からお願い申し上げます。

学校法人東北工業大学 理事長 樋口 龍雄

学長 渡邊 浩文

\*中期計画「TOHTECH2023」の詳細については、本学ホームページをご確認ください。

## 寄付金募集要項

### ■ 募金の名称

TOHTECH2023募金～協創する知の杜をめざして～

### ■ 募金の目的

「学部学科改組再編」及び「八木山キャンパス整備基本計画」等の事業資金に充当

### ■ 総事業費

100億円（学部学科改組再編に係る教育設備の経費、新棟1期・2期建設経費及び既存建物・キャンパスの整備費等を含む）

### ■ 募金目標額

2億円

### ■ 募金期限

2024年3月31日

### ■ 募金の対象

同窓生、学生父母、本学役員、教職員、団体・法人企業及び本学の教育への賛同者

### ■ 募資金額

口数・金額にかかわらずありがとうございます

### ■ 寄付申込方法

個人様、法人様ともに、下記より選択可能です。

(1) インターネットによる申し込み

(2) 郵便振替・銀行振込による申し込み

### ■ 頽彰

#### (1)ご芳名録への掲載

寄付者のご芳名、法人名を永久に保存させていただきます。

（ご芳名の掲載を承諾された方のみ）

#### (2)銘板への掲載

個人様、法人様ともに一定額以上の寄付者は、銘板に

ご芳名、法人名をしるし、末永く顕彰させていただきます。

（ご芳名の掲載を承諾された方のみ）

この寄付金は、個人様、法人様ともに税制上の優遇措置を受けることができます。

○個人様につきましては、入金確認後、受領書等の必要書類を本学より送付いたします。

○法人様につきましては、受取人指定寄付金制度をご利用の場合、日本私立学校振興・共済事業団指定の申込用紙がございますので、

事前に本学 財務課(022-305-3505)まで寄付の意思をお伝えください。本学より必要書類と返信用封筒をお送りいたします。

詳細については第7面 「寄付手続きの流れと税制上の優遇措置について」をご確認ください。

## インターネットによるお申込みについて

### 東北工業大学寄付金ホームページ

[http://www.tohtech.ac.jp/corporation/reconstruction\\_aid/index.html](http://www.tohtech.ac.jp/corporation/reconstruction_aid/index.html)

東北工業大学 2023募金



パソコン、スマートフォン、タブレットからの  
お申し込み手続が可能となっており、クレジットカード決済、コンビニ決済、Pay-easy  
(ネットバンキング)決済サービスをお選びいただけます。本学が寄付の決済代行を委託している株式会社エフレジの寄付支払いサイトでのお手続きとなりますので、本学HPよりお申込みください。

ご利用いただけ る決済手段	クレジット カード決済		受付可能な寄付方法 都度寄付/継続寄付/指定月寄付
	コンビニ決済		
	ネットバンク (24時間受付可能)		Pay-easy対応金融機関一覧 <a href="https://ssl.f-regi.com/payeasy/bank_list.cgi">https://ssl.f-regi.com/payeasy/bank_list.cgi</a>

## 人・活動・知をつなぐ「知(地)の杜」東北工業大学

### 整備計画基本コンセプト

- ① 人・活動・知をつなぐ『コモンサークル』
- ② 居場所となり交流を生む『tohtech SPOT』『tohtech COMMON』
- ③ 学科の領域を超えた新しい価値を生む機能別の棟構成
- ④ 将来を見据えた八木山キャンパス全体構想
- ⑤ 新棟建て替えを研究題材とするチャレンジラーニングプロジェクト

### 新棟1期「実験・教育棟」

2022年9月竣工

# Tech-Lab

最先端の設備と環境を備えた  
全学共用の実験・教育棟  
「Tech-Lab」(てくらぼ)  
「でぐでくと…」気軽に立ち寄れる  
実験・教育施設

工事 概要	構造種別 S造 地上4階 建築面積 2195.13m <sup>2</sup> 延床面積 6370.33m <sup>2</sup> 工 期 2021年4月～2022年9月
----------	---



### 新棟2期

学科を超えた知的交流空間

「tohtech COMMON」を  
中心に、交流や安らぎの場となる  
八木山の眺望を活かした  
食堂や図書館、研究室等を整備



南立面イメージ



東立面イメージ



北立面イメージ



西立面イメージ

## 寄付金募集事業実行委員会

委員長 今野 弘 昭和46土木 東北工業大学 特別顧問

副委員長 秋元 俊通 昭和50土木 東北工業大学同窓会 会長

副委員長 小鹿 信弘 昭和52建築 東北工業大学後援会 会長

副委員長 横野 隆一 東北工業大学 法人本部事務局長

副委員長 佐藤 亨 東北工業大学 大学事務局長

委員(幹事) 西條 芳郎 昭和46建築 東北工業大学同窓会 副会長

委員(幹事) 前澤 博 昭和48電子 太平電気株式会社 代表取締役会長

委員(幹事) 渡邊 浩文 東北工業大学 学長

委員(幹事) 菊地 良覺 昭和51意匠 東北工業大学 特命教授

委員 浅野 英樹 昭和63建築 株式会社大林組 上杉二丁目工事事務所所長

委員 姉帶 英雄 昭和62土木 鹿島道路株式会社 北海道支店工事部専門部長

委員 阿部 勝 平成6土木 豊和建設株式会社 代表取締役

委員 遠藤 敏雄 昭和50土木 株式会社復建技術コンサルタント 相談役

委員 川村 泰史 平成1土木 株式会社ユアテック 土木建築部長

委員 小幡 早苗 昭和46通信 コールテック株式会社 代表取締役

委員 熊谷 俊彦 昭和60通信 東北電子産業株式会社 利府事業所所長

委員 熊野 彰 昭和55意匠 仙台箪笥熊野洞 代表

委員 五嶋 康則 昭和63建築 株式会社橋本店 常務取締役建築本部長

委員 斎藤 靖士 平成7電子 大和電設工業株式会社 エンジニアリング事業部アクセス部長

委員 小林 晋 平成6意匠 アイリスオーヤマ株式会社 ホーム開発部長

委員 佐藤 光好 昭和57建築 大成温調株式会社 東日本支社東北支店長

委員 岩田 信一 昭和46電子 株式会社システムズ 代表取締役会長

委員 菅井 保彦 昭和52電子 ケーブルメディア株式会社 代表取締役

委員 鈴木 伸一 昭和44電子 高原会 会長

委員 千田 隆志 昭和48上木 千田建設株式会社 代表取締役

委員 中嶋 祐 平成10通信 リコージャパン株式会社 宮城支社営業グループリーダー

委員 西谷 卓夫 昭和50建築 株式会社菅野工務店 代表取締役

委員 舟山 克也 平成1土木 株式会社阿部和工務店 代表取締役社長

委員 真柄 正則 平成11土木 第一建設工業株式会社 安全本部安全部次長

委員 三浦 修市 昭和45電子 株式会社ケディカ 会長

委員 山城 智万 平成4電子 株式会社東栄科学産業 代表取締役

委員 横山 徹 昭和52土木 奥田建設株式会社 常務取締役

委員 米谷 恵児 昭和61電子 日本テクニカル・サービス株式会社 代表取締役社長

委員 伊深 佳典 平成2土木 仙建工業株式会社 取締役執行役員 土木本部長

委員 佐藤 明 昭和46意匠 東北工業大学同窓会 副会長

委員 中島 敏 昭和54意匠 東北工業大学同窓会 副会長

委員 佐藤 有朗 東北工業大学後援会 副会長

委員 高橋 健一 東北工業大学後援会 副会長

委員 伊藤 克利 平成2意匠 東北工業大学後援会 副会長

委員 丹野 喜昭 東北工業大学後援会 会計担当理事

委員 小林 正樹 東北工業大学 副学長

委員 石井 敏 東北工業大学 副学長兼建築学部長

委員 工藤 栄亮 東北工業大学 工学部長兼工学研究科長

委員 小祝 慶紀 東北工業大学 ライフデザイン学部長兼ライフケイン学研究科長

委員 高橋 哲徳 東北工業大学 総合教育センター長

委員 藤田 豊己 東北工業大学 電気電子工学科長

委員 木戸 博 昭和62電子 東北工業大学 情報通信工学科長

委員 須藤 敦史 東北工業大学 都市マネジメント学科長

委員 有川 智 東北工業大学 建築学科長

委員 佐藤 善之 東北工業大学 環境応用化学科長

委員 梅田 弘樹 東北工業大学 産業デザイン学科長

委員 大沼 正寛 東北工業大学 生活デザイン学科長

委員 川島 和浩 東北工業大学 経営コミュニケーション学科長

委員 守 和彥 東北工業大学 参与(AI支援担当)兼研究支援センター事務長

委員 高橋 正行 昭和58上木 東北工業大学 法人本部事務局次長兼施設管財課長

委員 川村 弘昭 東北工業大学 大学事務局次長兼技術支援センター事務長

委員 沢木 利行 平成11建築 東北工業大学 総務企画課長

委員 渡邊 一智 東北工業大学 財務課長

委員 小山内 幸広 東北工業大学 大学企画室長

委員 目黒 裕二 平成8電子 東北工業大学 教務学生課長

委員 岡 達三 東北工業大学 入試広報課長

委員 川村 孝広 東北工業大学 キャリアサポート課長

委員 阿部 智 東北工業大学 地域連携センター事務長

委員 半澤 勝之 平成2電子 東北工業大学 情報サービスセンター事務長

委員 武田 元彦 東北工業大学 学修支援センター事務長

委員 小原 孝一 東北工業大学 長町校舎事務長

委員 石川 清志 東北工業大学 内部監査室長

\*企業関係者につきましては50音順(数称略)にて掲載しております。

個人の皆様へ

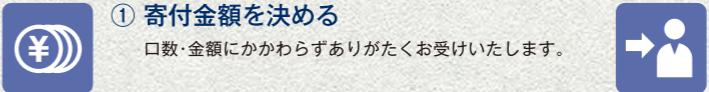
法人の皆様へ

## 寄付手続きの流れと税制上の優遇措置について

### お申込みから確定申告までの流れ

#### ① 寄付額を決める

口数・金額にかかわらずありがとうございます。



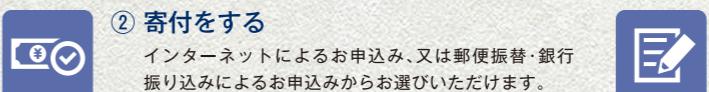
#### ③ 受領書等を受け取る

ご入金が確定できましたら、本学から寄付金受領書等の書類を送付いたします。



#### ② 寄付をする

インターネットによるお申込み、又は郵便振替・銀行振り込みによるお申込みからお選びいただけます。



#### ④ 確定申告をする

受け取った書類を確定申告時に提出いただければ税金が控除されます。



### 税制上の優遇措置のご案内

本学への寄付金は、文部科学省より寄付金控除の対象となる証明を受けており、税制上の優遇措置を受けることができます。

#### 所得税の控除

確定申告の際、「税額控除制度」又は「所得控除制度」2つの制度からいずれか有利な方を選択することができます。

#### 税額控除制度(小口寄付の減税効果が大きくなる)

寄付額から2千円(税額控除額)を差し引いた額の40%が、税額控除対象額となります。

$$(寄付額^{※1} - 2千円) \times 40\% = 寄付金控除額^{※2}$$

#### 所得控除制度(所得税率が高い高所得者の減税効果が大きくなる)

寄付額から2千円を差し引いた金額が所得金額から控除できる制度です。

$$(寄付額^{※1} - 2千円) \times 所得税率^{※3} = 寄付金控除額^{※2}$$

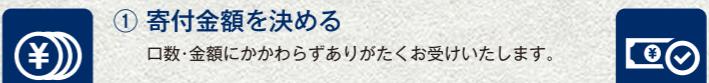
※1 控除となる寄付額は、その年の給与所得金額等の40%が上限となります。※2 寄付金控除額は、その年の所得税額の25%が上限となります。

※3 所得税率は、課税所得によって5%~45%の範囲で変動します。

### お申込みから損金算入の手続きまでの流れ

#### ① 寄付額を決める

口数・金額にかかわらずありがとうございます。



#### ③ 寄付をする

「受取者指定寄付金」又は「特定公益増進法人に対する寄付金」のいずれかの方法をお選びいただけます。



#### ② 寄付の意思を伝える

本学財務課(022-305-3505)までお問い合わせください。法人様の寄付の流れを説明し、必要な書類を送付いたします。



#### ④ 損金算入の手続きをする

ご入金が確認できましたら、本学から法人税の減免に必要な書類を送付いたしますので、お手続きください。



### 税制上の優遇措置のご案内

#### 受取者指定寄付金(寄付金の全額を損金に算入可能)

受取者指定寄付金制度とは学校法人に対する法人からの寄付金をいったん日本私立学校振興・共済事業団(以下事業団)が受入れ、その後同事業団から寄付者が指定した学校法人へ配付する制度です。寄付金を支出した事業年度において、所得の金額の計算上、全額損金に算入することができます。損金算入手続きには、事業団発行の「寄付金受領書」が必要となります。この「寄付金受領書」は本学を経由して送付いたします。

#### 法人(寄付者)

#### ① 寄付申込・送金

#### ④ 「寄付金受領書」発送

#### 学校法人

#### 東北工業大学

#### ② 寄付申込・送金

#### ③ 「寄付金受領書」発行

#### 日本私立学校振興 共済事業団

#### ⑤ 寄付金支出額全額損金算入

【注意事項】事業団が寄付金を受理した日が損金算入日となります。なお、当該決算期に損金処理される場合は、諸手続きの関係上、ご入金から受領書の発行まで約2ヶ月程度のお時間が必要ですので、当該決算日近くのご寄付のお申し込みの場合はご注意ください。

#### 特定公益増進法人に対する寄付金(寄付金を一定の限度額まで損金に算入可能)

特定公益増進法人に対する寄付金の「合計額」と下記の「特別損金算入限度額」のいずれか少ない金額が損金に算入されます。

#### 特定公益増進法人に対する寄付金の特別損金算入限度額の計算方法

$$\left\{ \left( \frac{\text{期末資本金及び資本積立金}}{12ヶ月} \times \frac{3.75}{1000} \right) + \left( \frac{\text{寄付金支出前の所得金額}}{100} \right) \right\} \times \frac{1}{2} = \text{損金算入限度額}$$

※特定公益増進法人に対する寄付金のうち、損金に算入されなかった金額は、「一般の寄付金」として、別途損金算入することができます。

